もっと日本を。もっと世界へ。

國學院大學　観光まちづくり学部

國學院大學 入学課（若木タワー1F）〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
TEL.03-5466-0141（直通） https://www.kokugakuin.ac.jp

井の頭キャンパス
（保健学部・総合政策学部・外国語学部）
〒181-8612　東京都三鷹市下連雀 5-4-1
JR 吉祥寺駅・三鷹駅からバス 15 分、
京王線仙川駅からバス 20 分　www.kyorin-u.ac.jp

杏林大学
KYORIN UNIVERSITY

外国語学部
英語学科　中国語学科
観光交流文化学科

オンリーワンのプログラム
ウェルネス＝観光 × 医療

就職率 100%
2024年度外国語学部実績

Open Campus　2025年 7月26日 土　8月23日 土

事前に参加予約をしてください。お申込みはこちら

杏林大学
入学センター（井の頭キャンパス）　TEL.0422-47-0077（直通）
※オープンキャンパスのプログラムや最新情報は、本学のホームページでご確認ください。

杏林大学

観光プロフェッショナルに

杏林大学（東京都三鷹市）は、外国語学部、総合政策学部、保健学部、医学部の4学部15学科を有する医療系総合大学。「井の頭恩賜公園」「三鷹の森ジブリ美術館」にほど近い「井の頭キャンパス」の「外国語学部観光交流文化学科」で観光を学ぶことができる。

学科の定員は1学年90名。都心に近く自然にも恵まれた文化的ロケーションの下、少人数制による丁寧な観光教育を行っている。

観光学が専門の古本泰之教授は同学科の特長について次のように話す。

「外国語学部には英語学科、中国語学科という語学専門の学科に加え、観光交流文化学科があります。観光交流文化学科の学生も英語に加えて中国語を学びます。外国語運用能力とホスピタリティ・コミュニケーション能力を養い、幅広い分野で活躍できる観光プロフェッショナルを目指した実践的専門プログラムを展開しています」。2024年の海外留学・研修実績は、参加者数が65人で、派遣先教育機関が9カ国・地域の23校。外国語学部の強みが生かされている。

小堀教授

温泉観光学が専門の小堀貴亮教授は、保健学部と連携した「杏林型ウェルネスツーリズム」を提唱し、授業の一環としても実践している。静岡県東伊豆町、愛知県田原市、長野県千曲市などの地域と連携。理学療法学の視点から温泉地のバリアフリー化や、温泉地のアクティビティがもたらす運動効果の実証活動を行っている。「温泉地は衛生管理が大切。医学・保健学的知識は欠かせません。衛生管理や感染症の感染防止など、医療×観光を学ぶ授業があるのも杏林のオンリーワンのカリキュラムです」（小堀教授）。

24年度外国語学部の就職率は100%。学部の全教員が一人一人の学生を卒業までサポートするアドバイザー（担任）制度の成果が出ている。

ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート（米）、JAL、ANA、AIRDO、JR東日本、日本旅行、KNT-CTホールディングス、クラブツーリズム、帝国ホテル、京王プラザホテル、星野リゾート・マネジメント、リゾートトラストなど、観光業を支える企業に就職している。

文教大学

教室の学びと「体験知」結ぶ

文教大学は東京都足立区に2021年4月に新規開校した「東京あだちキャンパス」の国際学部国際観光学科で観光教育を行っている。東京あだちキャンパスという名称には、政治・経済・文化などの拠点である「東京」まざまな場面で関係性の再構築が求められています。だからこそ、複雑な国際的状況の『理解』から望ましさを考える学びや、『観光』現象を捉え活用する学びを展開する本学部ならではの、柔軟で多面的な視点を大切にしています」。

国際学部長の山田修嗣教授は学部での教育内容についてこう話す。

国際学部での学びのキーワードは①フィールドワークを重視。全身でグローバルを味わう②世界レベルの語学力を習得。英語教育も学べる③「伝える」から「伝わる」へ。対話による発信力の養成―。①では、外国で国際協力に挑戦。環境や地域

山田学部長

語学教育では学生を徹底的に鍛える。

「本学部の特徴は『絶妙な距離感』です。仲間や教職員とのほどよい関係が、学びを深め、気づきを生む土台となっています。現代社会では、さ

ます。現代社会では、さ

す。だからこそ、複雑な

会える真の語学力を身につける。語学の授業は3年次まで必修。留学のプログラムも充実している。英語の教員免許取得のための授業でも、異文化理解を深める指導方法などを学んでいく。③では、学部必修科目「国際学入門」でディスカッションとグループワークによる学びを身につける。異なる意見を尊重し合い、世界の人々と共に生きるために対話を尊重する21世紀型の学びを提供。世界で起きている諸問題に向き合うための知識も深める。

国際学部は2学科で構成。「国際理解学科」では、世界の仕組みを理解し、地球市民としてのスキルを身につける。「国際観光学科」では、国際舞台や地域振興の現場で活躍する観光領域のプロを目指す。里山、伝統文化、和食、アニメの聖地巡礼など、インバウンド観光の隆盛により、多くの日本観光の魅力が見いだされ、観光の在り方が大きく変わろうとしている。この時代にあって、国際観光学科では、世界と日本の観光動向と観光客のニーズの両方を知り学びながら、今後の持続可能な観光の望ましい在り方、そしてあるべき未来を考え、活躍できる観光人材の育成を目指している。

国際観光学科には、専門性を極める三つの科目群が用意されている。「ホスピタリティビジネス科目群」は、旅行、ホテル、航空、飲食など、ホスピタリティマインドならびにそれを体現する具体的な産業について学び、「お客さま」の視点から見た経験価値を作り上げる能力を育成するための科目群。「マネジメント科目群」は、観光学を学ぶ上での土台となる知識や理論に関わる基礎的な能力を育成するとともに、変化する世界の実態を踏まえての観光政策やリスク管理など、将来の観光産業を見据えた物の見方を養う科目群。そして「観光プロデュース科目群」は、地域の観光資源を掘り起こし、地域の新たな価値を創造、発信するための専門知識とともに、まちづくりやアートの観光との関係を学び、観光を通じた持続可能な地域の創造や交流に貢献する実践的能力を育成する科目群だ。この三つの科目群を通じて専門知識を習得し、国内外での多彩なフィールドワークや現場体験により実践性を養い、観光ビジネスや地域づくりの現場で活躍できる専門性を追求する。

東京あだち
キャンパス

2024年度の進路分野は、観光サービス20%、運輸14%、卸・小売り14%、生活関連サービス13%など。22～24年の主な進路実績は、観光サービスが、共立メンテナンス、ケーヨーリゾート開発、東京ベイヒルトン、パレスホテル、藤田観光、星野リゾート・マネジメント、ミリアルリゾートホテルズ、横浜グランドインターコンチネンタルホテル、リゾートトラストなど。運輸が、AIRDO、ANAエアポートサービス、JALスカイ、スターフライヤー、JR西日本、JALなど。生活関連サービスが、エアトリ、KCJグループ、JTB、テイクアンドギブ・ニーズ、ノバレーゼ、名鉄観光サービスなどとなっている。

國學院大學

地域を見つめ、地域を動かす

國學院大學観光まちづくり学部は同学の創立140周年を迎えた2022（令和4）年に開設。「地域を見つめ、地域を動かす」をモットーに、「日本各地の歴史・文化・自然を見つめ、観光を基軸に持続可能な『まちづくり』を考えて多様な側面から地域に貢献できる人材の育成を目指す」との教育方針を掲げている。

観光まちづくり演習Ⅲ

母体となる皇典講究所が明治15年に設立されて以来、地域社会のよりどころである神社に奉仕する神職たちを輩出してきた同学。卒業生が近年の少子高齢化により「氏子が減って祭りができない」「地域の伝統文化の継承が危ぶまれている」と危機感を持ち、「地域を元気にするような学びを大学に期待したい」と声を上げたのが学部創設の大きなきっかけとなった。

学びの柱は、文系と理系の垣根なく科目を柔軟に選択できるカリキュラムと、少人数で分野横断的な共同作業を行う「ゼミナール」「観光まちづくり演習」だ。

ゼミナールは都市計画、観光地経営、地方自治など、観光まちづくりに関わるさまざまな分野の教員が担当。1人の教員が約15人の学生を指導し、それをもとに学生が発表・討論を行うという対話的な学修となっている。

観光まちづくり演習は、ⅠからⅢの3段階に及び、観光まちづくりに取り組む地域の現場に実際に足を運び、それぞれの課題解決につながる構想・企画を考え、提案するという内容。Ⅰで地域の見方や調査・分析方法の基本を学び、Ⅱで現地調査と、それを踏まえた地域課題の分析。Ⅲは総仕上げとして、課題解決の具体的な構想をまとめ、まちの関係者らにプレゼンテーションを行う。

フィールドワーク先は全国各地に及び、岐阜県高山市、千葉県香取市佐原地区のまちづくりNPOなどと観光まちづくりに関する連携協定を締結している。夏季休暇中に学部独自の「海外スタディツアー」を行うなど、学びのフィールドは世界にまで広がっている。

同学部の付置センターである地域マネジメントセンターでは、地域社会を学ぶための教科書を発行。「観光まちづくり演習Ⅰ～Ⅲ」で使用する『「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方』（朝倉書店）では、地域を見つめ、地域を動かすための、基礎的な視点や手法を学ぶ。

「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方

4年間を横浜市の横浜たまプラーザキャンパスで学ぶ。学部の創設を契機にキャンパスの1棟を同学部用に改装。教員の研究室のすぐ目の前に演習室を設け、学生が自由に使えるようにしている。「空き時間に仲間と勉強をしてもらい、行き詰まったら教員を呼んでアドバイスを受ける。教員と学生の距離が近くフレンドリーで、共に良い学びの環境をつくっていこうという意識があることが当学部の特徴だ」と同学総合企画部入学課の佐野祐人課長補佐。

卒業生の進路先は国家・地方公務員、観光協会・DMO職員、観光事業者などを想定。来春に同学部の第1期生が卒業する。

文教大学　国際学部
国際理解学科　国際観光学科

ドラマのロケ地にもなっている新しいキャンパス

「世界」と「わたし」をつなぐ　新しい学びの実践へ！
Faculty of International Studies

2025 OPENCAMPUS
各種プログラムを実施
▲詳細はコチラから
開催時間　11：00～15：00（予定）
実施内容　●文教大学紹介　●学部紹介　●入試説明　●模擬授業　●キャンパスツアー　●個別相談　ほか

7月の オープンキャンパス
模擬授業：「『国際化する』ってどういうことだろう？」（国際理解学科）、「アートツーリズム入門」（国際観光学科）
学部独自企画：「モンゴル遊牧民の移動式住居（ゲル）で写真展示」、「小江戸『蔵の街』を歩きつくす！」

8月の オープンキャンパス
模擬授業：「コミュニケーションのための英文法」（国際理解学科）、「事例から考える国際観光とホスピタリティ」（国際観光学科）
学部独自企画：「『英語が話せる』から『世界と関われる』へ：未来を動かす行動力と対話力を育てるニューヨーク国連研修」、「地域を訪ね・人に学ぶ海津 LABO の活動紹介　～学びは実験だ！」

TOKYO ADACHI
東京あだちキャンパス
〒121－8577
東京都足立区花畑 5-6-1
国際学部　経営学部
7月20日（日）
8月23日（土）
9月7日（日）

大宮駅 約55分 谷塚駅 徒歩約13分
渋谷駅 約55分 谷塚駅
東京駅 約40分 谷塚駅
浅草駅 約10分 六町駅
つくば駅 約45分 六町駅 バス約15分

国際学部 3つのPOINT
1 フィールドワークを重視 全身でグローバルを味わう
2 世界レベルの語学力を習得 英語教育についても学べる
3 「伝える」から「伝わる」へ 対話による発信力の養成

国際学部
国際理解学科
●多文化共生・異文化理解 ●国際協力 ●グローバルコミュニケーション ●地域社会 ●国際社会 ●英語教育 ●教員養成
国際観光学科
●ホスピタリティ ●観光プロデュース ●まちづくり ●観光政策 ●観光資源 ●旅行 ●ホテル ●航空

文教大学
文教大学 東京あだちキャンパス　〒121-8577 東京都足立区花畑 5-6-1
東武スカイツリーライン　谷塚駅徒歩約13分
https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kokusai/